

長崎と天草地方の 「世界遺産巡礼の道」 県民限定モニターツアー



2021年3月14日(日曜日)

コース：浦上教会～岩屋山(約5.5km)

募集期間：2月24日～3月5日

(新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります)

長崎県では、コロナ禍で閉塞感に満ちた今、県民の皆様にも明るい未来を描く希望の道として、『長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」』を創設します。この道は自然景観を体感しながら歩くことで、世界遺産などの理解だけでなく、「癒し」や「ゆったりとした時間と雰囲気」のなかで自分を見つめ直す道として利用いただきたいと考えており、今回はモニターツアーとして県内在住のご家族限定5組にルートの一部を体験していただきます。当時の人々に思いをはせるのもよし、今の自分に「癒し」を与えるのもよし、ご家族でのんびり歩いてみませんか。



- ・参加費：無料
- ・受付時間：9:00(出発は9:15)
- ・スタート：浦上教会
- ・ゴール：岩屋山(各グループに職員が同行しますので、下山までの対応も可能です)
- ・募集人数：5組の家族25人以内(1組あたり2人から5人まで)
- ・参加資格：長崎県内在住(小学生以上)ただし家族での申込に限ります。
- ・申込方法：WEBまたはFAXで3月5日17時までにお申込ください。
応募多数の場合は抽選し、結果はグループの代表者に連絡します。

特典：ツアー参加後アンケートに回答いただいたグループに5,000円相当の県産品と世界遺産グッズをプレゼントします。



【問合せ・申込】長崎県世界遺産課 〒850-8570 長崎市尾上町3-1
【電話】095-894-3171 【FAX】095-894-3485

WEB申込は
こちら



モニターツアー参加申込

FAX 095-894-3485 世界遺産課行き

氏名(ふりがな)	生年月日	年齢	性別	住所	連絡先(携帯電話)
代表者					

< 参加に当たっての注意事項 >

- ・ 持参するもの：飲料、雨具、昼食、タオル、健康保険証、防寒具(必要に応じて)
- ・ 服装：動きやすい服装、履きなれた運動靴
- ・ 当日受付時に検温を行い 37.5 以上の方がいらっしゃる場合グループの参加を見合わせていただきます。
- ・ 当日は、道路交通や足元には各自で十分ご注意ください。また、同行職員の指示を守り、危険な行動はしないでください。
- ・ 参加者が他に与えた損害については一切責任を負いません。
- ・ ツアー実施中、天候の急変等も予想されますが、参加者各自で対応をお願いします。
- ・ 昼食の時間は特に定めていません。
- ・ 今回のツアーにかかる損害保険は主催者で加入します。
- ・ 天候不良等によりツアーを中止する場合は、代表者の方に連絡いたします。
- ・ ツアーの応募を通じてご提供いただきました個人情報、本事業の目的以外で使用することはありません。

長崎県世界遺産課 〒850-8570 長崎市尾上町 3-1 【電話】 095-894-3171

「希望を与えた予言の道」より 浦上教会～岩屋山頂を歩く

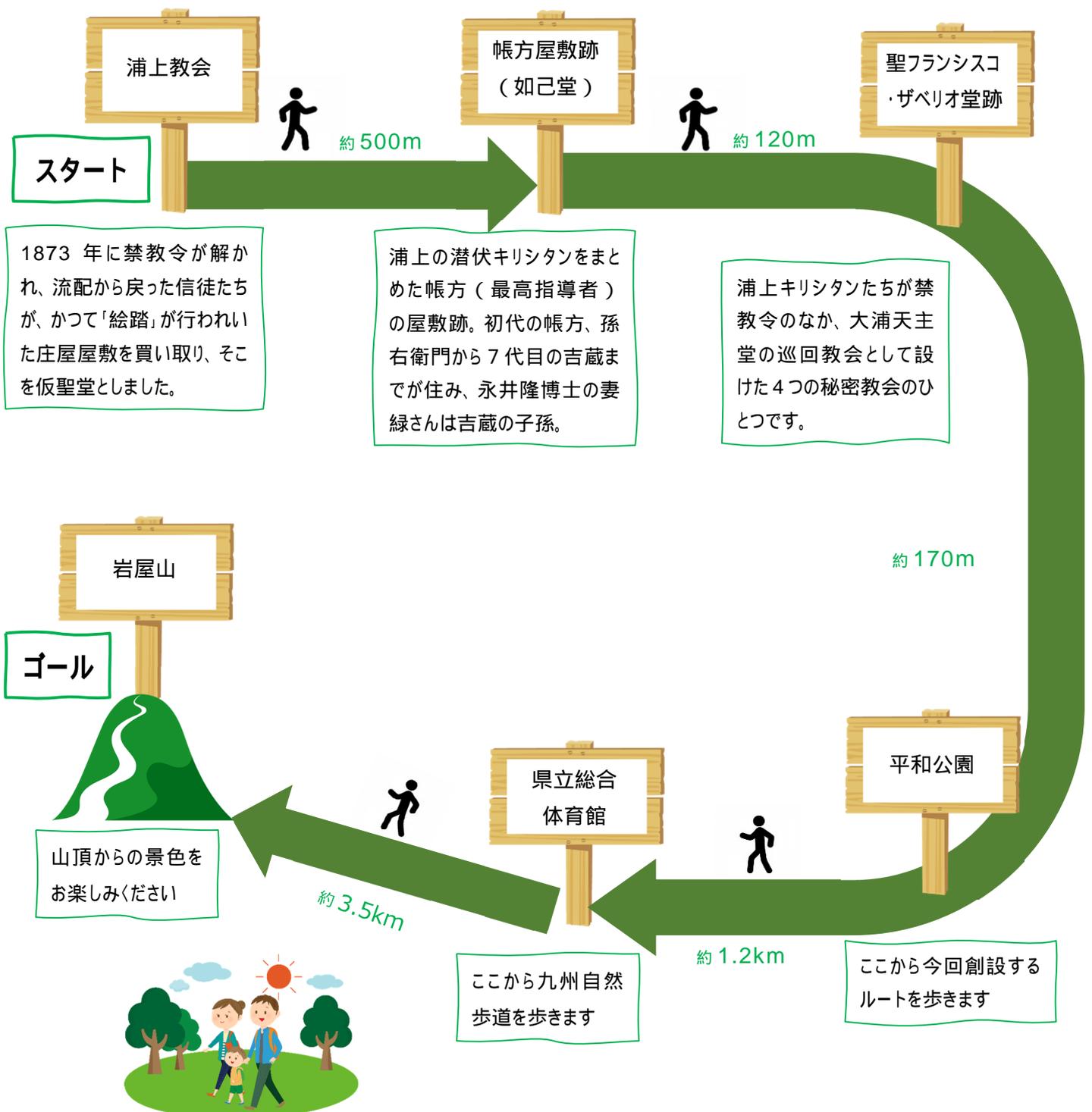
浦上と外海の潜伏キリシタンは、禁教初期の日本人伝道者バスチャンが処刑の前に残した予言を信じていました。その一つに「コンヘソーロ（告白をきく神父）が大きな黒船に乗ってやってくる」というものがあります。この予言を希望として、潜伏キリシタンは自分たちの信仰を続けました。

バスチャンは外海の檜山で伝道を行っていたとされ、それに伴う奇跡の伝承から檜山にある赤岳が潜伏キリシタンにとっての霊地とされました。

当時、赤岳のある東檜山は佐賀領であり、他領から越境して訪れることは困難でした。

浦上の潜伏キリシタンは、「三度岩屋山に詣れば、一度檜山に参詣したことになる。三度檜山を詣れば、一度ローマに詣でたことになる」と信じ、岩屋山へ通いました。

今回は、バスチャンの予言と伝承にもとづくルートの中から、浦上から岩屋山へ至る道を歩き、かつての潜伏キリシタンの希望を体感します。



長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」

総延長(調整中)：500 k m程度(長崎県内 455 k m、熊本県内 45 k m)

関係市町：平戸市～南島原市・天草市(長崎県内 14 市町、熊本県内 2 市町)

経路：ルートは九州自然歩道(環境省)、公道等で構成

密かな聖地を巡る道[平戸]

平戸市内から、キリスト教に改宗した領主松浦氏の家臣領地であった生月や平戸島西海岸を巡り、江戸時代、佐世保黒島が属した津吉村までのコース。

新天地への開拓移住の道[佐世保・五島列島]

かつての平戸藩・五島藩などで、長崎外海のキリシタンが開拓移住した集落毎に多くの教会が点在。九十九島・黒島から小値賀町・新上五島町・五島市と五島列島を南下するコースで西海国立公園の自然が楽しめる。

希望を与えた予言の道[長崎・外海]

長崎開港とともに日本カトリックの総本山「岬の教会」を中心にキリシタンが長崎の町を形成。このコースは岬の教会から時津道(浦上街道)を経て、禁教期にローマに通じる聖地を拝んだ岩屋山を通り、世界遺産「外海の大野集落」に近い神浦までのコース。

キリシタン大名と少年使節の道[西海・東彼杵・県央]

天正遣欧少年使節の一人中浦ジュリアン出生の地(西海市)から、江戸時代、往来のあった平戸街道や長崎街道を巡り日本初のキリシタン大名 大村純忠の本拠地大村市を通る。雲仙市千々石までのコースでルート上にはキリスト教が繁栄した反面、殉教地も多い。

キリスト教繁栄と島原・天草一揆の道[雲仙・南島原・天草]

雲仙市千々石から雲仙温泉、世界遺産の南島原市「原城跡」、天草市「崎津の集落」までのコース、雲仙天草国立公園の豊かな自然景観・眺望が楽しめる。

